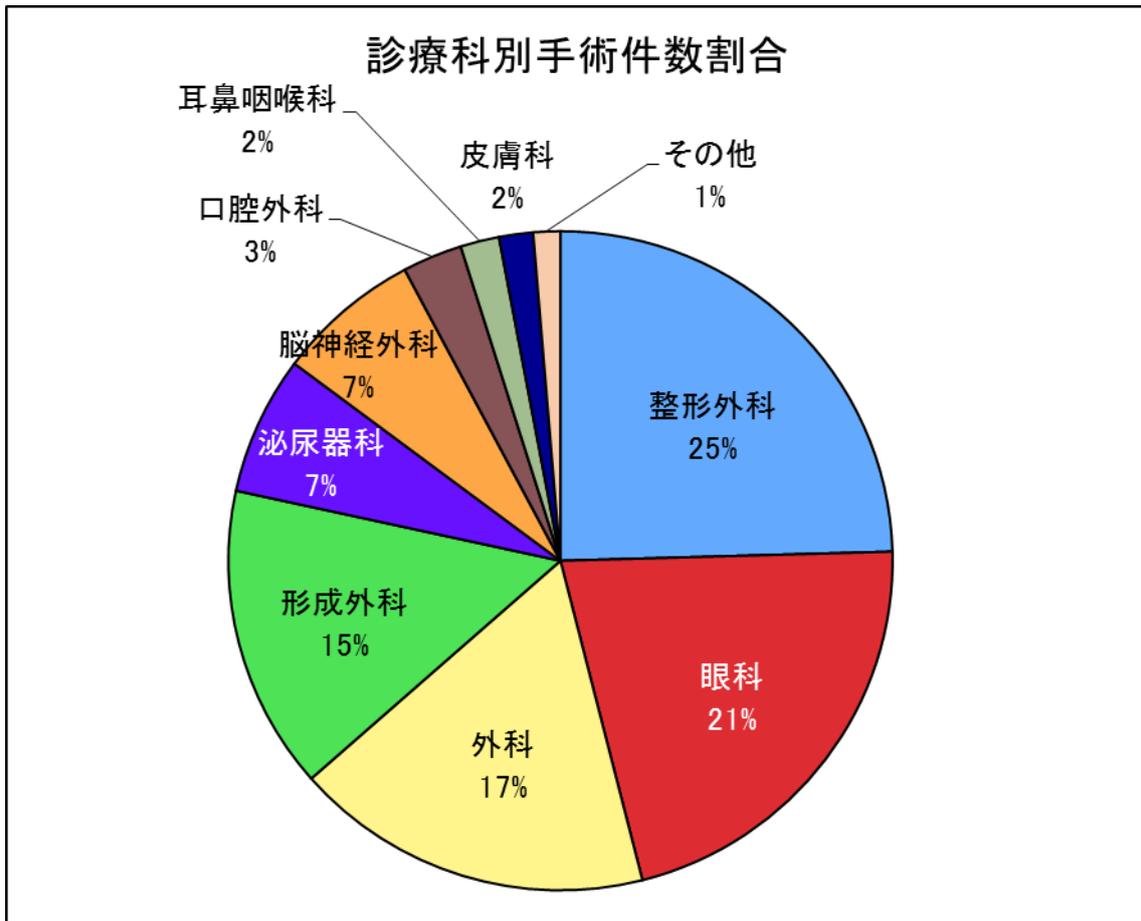


II 診療実績



1. 内科

特任副院長・内科部長 瀬口 雅人

昨年度も地域の中核病院として、各内科の専門分野において、医療貢献してきました。しかし、患者さんは最初からどの専門医を受診したらよいか、わかる事は少なく、初診患者を適確に診断し、必要あれば、専門医への架け橋となる役割を担う医師が必要です。病院総合診療医は総合病院においてそのような役割を担い、近年重要性が認識されてきています。当院では総合診療の専門教育を受けた医師は皆無ですが、その必要性は感じており、患者さんが円滑に専門医療を受けられる様に、今後、総合診療医の育成とシステムの構築をしていきたいと考えています。

(件)

疾病・術式・検査名	H24年
消化器内科系	
C型肝炎-肝硬変に対するインターフェロン療法	24
内視鏡的食道静脈瘤結紮術	7
腹部血管造影	7
肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	7
血液内科系	
悪性リンパ腫	26
骨髄異形成症候群	5
多発性骨髄腫	7
急性骨髄性白血病	10
急性リンパ性白血病	3
再生不良性貧血	2
その他 血液疾患	28

透析センター

新規血液透析導入患者数	10
糖尿病性腎症	8
慢性糸球体腎炎	1
薬剤性腎障害	1
転入血液透析患者数	1
内シャント設置術施行（自己血管による AVF）	15
内シャント造影・PTA 施行	9

代謝・内分泌系

糖尿病教育入院	38
---------	----

循環器内科系

心臓 MRI	6
冠動脈 CT	118
心臓カテーテル検査	258
経皮的冠動脈形成術	123
経皮的末梢動脈形成術	5
恒久的ペースメーカー植込術	17
急性心筋梗塞	30
不安定狭心症	16

2. 総合外科・消化器外科

外科部長 曾我 直弘

2012年の外科手術件数は300件を超えて、近年では最も多い症例数となりました。昨年赴任の玄医師は残念ながら1年間という任期でしたが、惜しみなく力を発揮して戴いたと思います。

現在は常勤医3人態勢ではありますが、非常勤医師の赴任も確保して、外科医療の質を落とすことなく、病院内、地域の期待に応えられる診療体制をとっていきたいと考えております。

疾病・術式・検査名	(件) H24年
胃、十二指腸	45
胃癌 幽門側胃切除	11
胃癌 噴門側胃切除	1
胃癌 腹腔鏡補助下噴門側胃切除	1
胃癌 胃全摘術	11
胃癌 胃腺腫 内視鏡的粘膜下層剥離術	9
胃粘膜下腫瘍 胃部分切除術	1
胃粘膜下腫瘍 腹腔鏡補助下胃部分切除術	1
十二指腸カルチノイド 幽門側胃切除	1
十二指腸潰瘍穿孔 単純閉鎖術	5
胃潰瘍穿孔 幽門側胃切除術	1
幽門狭窄 胃空腸吻合術	2
胃癌 試験開腹	1
小腸	18
腸閉塞 小腸切除を伴う腸閉塞手術	6
腸閉塞 小腸切除を伴わない腸閉塞手術	6
腸閉塞 腹腔鏡下癒着剥離術	1
小腸穿孔 単純閉鎖術	2
小腸穿孔 小腸部分切除術	1
閉鎖孔ヘルニア嵌頓 小腸部分切除術	1
腹壁癒着ヘルニア嵌頓 小腸部分切除術	1

疾病・術式・検査名

(件)

大腸		66
結腸癌	リンパ節郭清を伴う開腹結腸切除術	29
結腸癌	リンパ節郭清を伴う腹腔鏡補助下結腸切除術	9
直腸癌、	リンパ節郭清を伴う開腹直腸切除術	15
直腸癌	経肛門的腫瘍切除術	1
大腸癌	人工肛門造設術 形成術	2
大腸穿孔（良性疾患）	腹膜炎 ハルトマン手術	7
S 状結腸憩室－膀胱瘻	S 状結腸切除+膀胱部分切除	1
S 状結腸軸捻転症	S 状結腸切除術	1
結腸人工肛門造設術後	人工肛門閉鎖術	1
胆道		37
胆石、胆嚢炎	開腹胆嚢摘出術	2
胆石、胆嚢炎	腹腔鏡下胆嚢摘出術	33
胆石、胆嚢炎、胆管結石	胆摘+胆管結石摘出	1
胆嚢炎	胆嚢外瘻造設術	1
膵、膵頭部領域、脾臓		5
膵のう胞性腫瘍	膵体尾部切除術	1
膵胆管合流異常症	分流手術	1
胆管癌	亜全胃温存膵頭十二指腸切除	2
外傷性脾破裂	脾臓摘出術	1
肝		2
肝細胞癌	肝区域切除術	1
転移性肝癌	部分切除術	1
頸部		6
甲状腺良性腫瘍	甲状腺（右又は左葉）切除	2
バセドウ病	甲状腺全摘	4
乳腺		31
乳癌	Bt+Ax	20
乳癌	Bp+Ax	3
乳癌	Bt	1
乳腺腫瘍	摘出	7

疾病・術式・検査名

(件)

虫垂		25
虫垂炎	開腹虫垂切除術	9
虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	16
腹壁		57
鼠経ヘルニア	ヘルニア根治術	51
大腿ヘルニア	ヘルニア根治術	2
大腿ヘルニア嵌頓	小腸部分切除+ヘルニア根治術	2
臍ヘルニア	ヘルニア根治術	2
肛門		10
痔核	結紮切除術	3
痔瘻	根治術	1
肛門周囲膿瘍	切開排膿術	4
肛門狭窄	SSG 法	2
リンパ節腫脹		3
体表リンパ節生検		3
その他		6
合計		311
麻酔法別手術件数		
全身麻酔		281
脊椎麻酔		6
局所麻酔		15
静脈麻酔		9
合 計		311

3. 小児科

小児科部長 恩田 真弓

昨年より、施行できる予防接種の種類が増えました。

親御さんの関心も高く、ヒブ、肺炎球菌ワクチンの接種率は高いです。

水痘、おたふく風邪の予防接種をなさる方がまだまだ少なく、時におたふく風邪は髄膜炎を合併することがあり、有効な薬もないことから接種を勧めています。

平成 25 年春先もロタウイルスによる胃腸炎が流行しました。ロタウイルスの胃腸炎は重症化しやすいため、ロタウイルスワクチンを服用していただきたいと思っています。ワクチン接種により来春はロタウイルス胃腸炎の減少が期待されます。

インフルエンザワクチンは毎年接種される方とされない方に分かれる傾向がみられます。接種してもかかるかとおっしゃるか方が多いですが、なるべく接種するようおすすめしています。幸い当院では重症の罹患例はありませんでした。

予防接種	(件) H24 年
BCG	25
B 型肝炎	14
アクトヒブ R (インフルエンザ桿菌)	4
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	49
水痘 (水ぼうそう)	52
MR (麻疹、風疹)	227
インフルエンザ	758
二種混合	2
三種混合	383
日本脳炎	406
子宮頸がん	95
肺炎球菌	461
合 計	2,476
乳児健診	142

4. 内視鏡科

術式・検査名		(件) H24年
内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	3,312
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	921
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	41
経皮的内視鏡的胃瘻造設術		28
合 計		4,302

5. 脳神経外科

副院長・脳神経外科部長 竹下 幹彦

当院の脳神経外科は、頭部外傷、くも膜下出血や脳内出血、脳梗塞などの脳血管障害や脳腫瘍の診断・治療を行っております。脳内血腫に対し血腫除去術を、破裂動脈瘤に対し開頭によるクリッピング術や東京女子医科大学脳神経外科血管内治療グループと共に血管内治療(コイル充填術)も行っております。未破裂脳動脈瘤で手術適応のある方には同様の治療も行っております。また、発症4.5時間以内の脳梗塞患者さんには、t-PAによる積極的な治療およびその後の脳梗塞に対する治療と共に、適応のある患者さんには脳主幹動脈閉塞による脳梗塞急性期患者の血管内治療(血栓溶解術)も行っております。脳卒中後等の片麻痺や失語症に対するリハビリテーションを行うと共に、茨城県南地域脳卒中連携パスの運用も行っております。

術式・検査名	(件) H24年
脳腫瘍	
開頭摘出術	9
脳血管障害	
破裂脳動脈瘤	18(*4)
未破裂脳動脈瘤	3
頸部内頸動脈ステント留置術	2
脳動静脈奇形	1
高血圧性脳内出血	18
血栓溶解術	*3
外傷	
急性硬膜外血腫	2
急性硬膜下血腫	2
慢性硬膜下血腫	30
水頭症	
脳室シャント術	15
脳神経減圧術	0
その他	27
合計	130

(*血管内手術)

6. 整形外科

副院長・整形外科部長 梅原 新英

相変わらず常勤医 3 名の医師不足のもとで、2012 年は前年より 40 件多い 439 件の手術を行いました。2013 年も常勤が増える見込みは無く、非常勤医に助けられながら何とか業務をこなしています。2012 年は非常勤の安井医師により当院で初めて肩の関節鏡視下手術が行われました。今後も骨折など外傷に対する手術が主体となりますが、これまで力を入れてきた『股関節外科』、『脊椎外科』、『スポーツ整形外科（膝関節など）』、『足の外科』に『肩関節外科』が加わり、より幅広い分野に対応していきます。

術式・検査名		(件) H24 年
四肢・骨盤骨折	骨折観血的手術	160
四肢・骨盤骨折	関節内骨折観血的手術	12
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	35
四肢・骨盤骨折	骨折非観血的手術	2
偽関節手術		2
変形治癒骨折	矯正手術	3
関節脱臼観血的整復術		4
関節脱臼非観血的整復術		8
関節拘縮	観血的関節授動術	1
骨折手術後など	骨内異物除去術	46
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	3
異物除去術		2
膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術（関節鏡視下）	8
変形性膝関節症・膝関節炎など	滑膜切除術	2
肩腱板断裂手術（関節症視下）		6
腱断裂	腱縫合術	11
変形性股関節症	人工股関節置換術	20
変形性股関節症	寛骨臼回転骨切り術	4
大腿骨頭壊死症	人工骨頭挿入術	1
大腿骨頭壊死症	大腿骨頭回転骨切り術	1
変形性膝関節症	人工膝関節置換術	14
変形性足関節症	関節固定術	1

術式・検査名		(件)
リウマチ性股関節症	人工股関節置換術	1
リウマチ性膝関節症	人工膝関節置換術	1
リウマチ性足部変形	関節固定術など	1
外反母趾	矯正術	1
頸椎症性脊髄症、頸椎椎間板ヘルニア、頸髄損傷	椎弓形成術	13
頸椎症性脊髄症	前方固定術	1
環軸椎脱臼・骨折	後方固定術	1
胸椎黄色靱帯骨化症手術		1
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	10
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離過り症など	後方固定術	13
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	11
軟部腫瘍	腫瘍切除術	2
ガングリオン、滑液包	摘出術	2
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	11
デピュイトラン拘縮手術		2
肘部管症候群	神経移行術	1
手根管症候群	手根管開放術	6
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽	切断術	3
その他		12
合 計		439

7. 形成外科

形成外科部長 高橋 元

形成外科一般を対象。創傷治癒の観点で傷をきれいにする事を心がけています。

術式・検査名	(件)
	H24年
外傷	29
先天異常	9
母斑、血管腫、良性腫瘍	175
炎症変性	9
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	3
褥瘡、難治性潰瘍	14
美容外科	11
その他	2
合 計	252

8. 泌尿器科

特任副院長・泌尿器科部長 松木 克之

当科は尿路（腎臓・尿管・膀胱・尿道）と男性性器（前立腺・精嚢腺・精管・精巣上体・精巣）副腎等の感染症・外傷・先天性疾患・結石・尿路閉塞疾患・悪性腫瘍を主に対象として診療しております。また平成22年10月よりESWLを再開いたしました。

術式・検査名	(件) H24年
腎摘（根治的）	4
腎瘻増設	1
腎尿管全摘出	6
TUL	5
尿管切石術	1
尿管鏡	4
尿管拡張	1
尿管カテーテル	1
尿管ステント留置	8
膀胱摘出	2
TUR-Bt	23
経尿道膀胱碎石	1
TUC 血塊取り	1
水圧療法（膀胱拡大）	1
TUR-P/HoLEP	15
前立腺全摘	6
前立腺生検	45
包茎	1
精巣摘出	1
精液瘤	2
病変部デブリ	2
合 計	131
体外衝撃波	26

9. 皮膚科

皮膚科 田中 未知

当院皮膚科では、常勤医師2名、他筑波大からの非常勤医師数名で診療を行っています。皮膚科一般診療を中心として、他に脱毛のレーザー治療、局所麻酔下の小手術、円形脱毛症の SADBE 治療なども行っています。手術は基本的に中央手術室で行います。

術式・検査名	(件) H24 年
レーザー脱毛	13
手術	33

10. 眼科

眼科医長 山本 敏哉

外来にて眼科疾患全般を診ています。平成23年4月より常勤医は私一人となっておりますが、よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいます。

また、今後も関連病院との連携を強め、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っています。

疾患および術式	(件) H24年
白内障：超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	339
白内障：囊外摘出術＋眼内レンズ挿入術＋前部硝子体切除術	1
無水晶体眼：眼内レンズ縫着術	1
眼内レンズ偏位：眼内レンズ整復	1
眼内レンズ度数ずれ：眼内レンズ交換	1
瞳孔偏位：瞳孔整復	1
後発白内障：後発白内障手術	1
糖尿病網膜症＋黄斑浮腫＋白内障： 硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	3
糖尿病網膜症＋硝子体出血＋白内障： 硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	3
糖尿病網膜症＋硝子体出血：硝子体切除術	2
増殖糖尿病網膜症＋白内障： 硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	3
増殖糖尿病網膜症：硝子体切除術	1
黄斑上膜＋白内障：硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	3
黄斑上膜：硝子体切除術	1
硝子体出血＋白内障：硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	2
硝子体出血＋網膜細動脈瘤：硝子体切除術	1
シリコンオイル注入眼：硝子体置換術	1
内因性眼内炎：硝子体切除術＋超音波乳化吸引術	1
眼瞼内反症	3
翼状片	1
黄斑浮腫に対するテノン嚢下注射	6
眼瞼良性腫瘍	1
合 計	377

11. 歯科・口腔外科

歯科口腔外科医長 山崎 善純

当科では、主に口腔外科的疾患（埋伏智歯、外傷、嚢胞、腫瘍、顎関節症、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、口腔感染症、口腔乾燥症、味覚障害、摂食嚥下障害などの口腔機能障害等）を治療対象としております。しかし、有病者（障害のある方、基礎疾患のある方）および当院入院中の方については、一般歯科治療（齲蝕歯、義歯治療など）も、施行しております。基本的に、一般歯科開業の先生と治療疾患を競合せず、当科にて精査加療が必要と思われる方をご紹介いただき、処置後に紹介元の先生に戻っていただく、病診連携をとるように心がけております。また、歯科だけでなく、他科の開業医の先生（内科、耳鼻咽喉科等）の先生方とも病診連携を心がけており、徐々に増加しております。また昨今、インターネット環境の拡大によりホームページを見られ、来院される方も散見されます。

外来の年間の新患数は、平成20年の1,235人、21年の1,415人、22年1598人と年々増加してはりましたが、東日本大震災から、少し減少して、1400人代となっております。紹介患者数は平成20年の372人より徐々に増加し、24年405人となっております。ご紹介頂いている地域としては、牛久市、つくば市、龍ヶ崎市、土浦市、取手市、稲敷郡等、広範囲にわたっております。

入院症例は56例、手術症例は52例で昨年とほぼ同等です。手術症例の内訳は、全身麻酔例が20例で、局所麻酔例は32例です。手術症例の内訳は、下表のとおりです。入院症例では手術目的のほかに、口腔領域の感染症（下顎・口底頬部蜂窩織炎8例）が散見されました。

術式・検査	(件) H24年
抜歯	19
骨折(上顎・下顎・顔面骨)	5
顎骨嚢胞	2
インプラント一次手術(人工歯根埋入術)	2
上顎腫瘍(良性)	3
下顎腫瘍(良性)	1
舌腫瘍(悪性)	1
下口唇(悪性)	1
唾石症	1
骨髓炎・腐骨除去	1
骨折手術後プレート除去	4
頸部リンパ節生検	8

術式・検査	(件)
非観血的整復固定	1
消炎	2
正中埋伏過剰歯	1
合 計	52

12. 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科医長 伊藤 昭彦

現在常勤医は1人で、外来は非常勤医を含め1～2診で行っております。入院患者は、めまいや突発性難聴、扁桃炎などの急性炎症が主体です。手術も行っており、扁桃摘出術、鼓膜チューブ挿入術、副鼻腔手術などを行っています。口腔外科に手伝ってもらい顎下腺や耳下腺などの頸部の手術を行うこともあります。顕微鏡が必要な喉頭の手術や耳の手術は現在のところ行えないので他院にご紹介いたしております。

術式・検査名	(件) H24年
がま腫切開術	1
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	1
咽頭異物摘出術（簡単なもの）	6
咽頭異物摘出術（複雑なもの）	3
外耳道異物除去術（単純なもの）	3
外耳道異物除去術（複雑なもの）	3
顎下腺摘出術	1
気管切開術	2
鼓膜（排液・換気）チューブ挿入術	6
鼓膜切開術	17
口蓋扁桃手術（摘出）	7
耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）	2
術後性上顎嚢胞摘出術	1
上顎洞根治手術	3
上顎洞篩骨洞根治手術	3
唾石摘出術（表在性のもの）	2
皮膚・皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	1
鼻甲介切除術（その他のもの）	1
鼻腔粘膜焼灼術	9
鼻中隔矯正手術	3
鼻内異物摘出術	2
鼻内篩骨洞根治手術	1
皮膚切開手術	2
合 計	80

13. 麻醉科

麻醉科医長 板倉 美千代

術式・検査名	(件) H24年
全身麻酔症例	
外科	275
整形外科	239
口腔外科	23
脳神経外科	77
泌尿器科	22
形成外科	40
耳鼻咽喉科	24
内分泌科	6
静脈麻酔症例	
泌尿器科	14
産婦人科	1
脊髄クモ膜下麻酔症例	
泌尿器科	52
形成外科	8
整形外科	8
外科	1
脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例	
整形外科	2
伝達麻酔症例	
形成外科	3
合 計	795

14. 放射線科

当科では、主にCT、MRI、乳房撮影、胃透視、注腸、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

CT、MRIの読影率は、90%以上で画像診断管理加算1を算定しています。

尚、平成24年にデジタルX線テレビ装置が導入され、高画質で得られた画像での診断が可能となりました。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

【導入装置】



デジタルX線テレビ（日立メディコ社製）

平成24年9月設置